

平成 29 年度ユネスコスクール年次報告書

1. 学校概要

学校名 金沢市立湯涌小学校・芝原中学校 (※正式名称を記載)

種 別 ☐ 保育園・幼稚園 ☒ 小学校 ☐ 小中一貫^{※注1}

☒ 中学校 ☐ 中高一貫^{※注2} ☐ 高等学校

☐ 教員養成大学 ☐ 専修学校、各種学校

☐ 特別支援学校

☐ その他 (例: 小中高一貫)

※注1 義務教育学校を含む ※注2 中等教育学校を含む

所在地 〒920-1122

石川県金沢市湯涌荒屋町 23

E-mail shibahara-j@kanazawa-city.ed.jp

Website http://cms.kanazawa-city.ed.jp/shibahara-j/

幼児児童生徒数 男子 21 名 女子 19 名 合計 40 名

幼児・児童・生徒の年齢 6 歳 ~ 15 歳

2. 報告期間

平成 29 年 4 月 ~ 平成 30 年 3 月

3. 活動内容

1 ユネスコスクールとしての取組

(1) 総合的な学習の時間の取組

【湯涌小学校】 テーマ「湯涌大好き！」

1～6年生「米作り」

地域の方々に教えていただきながら、全校児童で田植えや稲刈りを行った。また、6年生は脱穀を体験した。米作りの大変さや全校で協働する楽しさの体験を通して、食の大切さや地域の自然、人へ感謝する気持ちを育むことができた。

1～6年「野菜を育てよう」

今年度は、1・2年生はさつまいもや、ピーマン、なすなどの夏野菜、3・4年生は白菜やキュウリ、ゴーヤなど、5年生はトウモロコシ、打木赤皮甘栗カボチャなど、6年生はじゃがいも、源助大根などを育てた。収穫した野菜とお米を使って11月には収穫祭を行った。4～6年生は収穫したお米や野菜でごはんをめった汁を作り、1～3年生はさつまいもを使ってお菓子を作った。学校生活でお世話になった方や地域の方々を招待し、作った料理と一緒に味わった。野菜作りを通して地域の方々との交流を深めるとともに、自分達で育てた野菜を収穫する喜びやおいしさも感じる事ができた。



5年「湯涌の環境を調べよう」

湯涌小のまわりの野草を中心に学習した。自分たちで地域を回りながら野草を探し、どんな野草かを調べる中で薬草や毒草、食べられる野草、外来植物などについての知識を広げていった。自分たちが普段見ている野草が薬になったり食べられたりすることを知ること、野草や湯涌の環境を大切にしていきたいという思いを強めた。また、身近な野草に外国から来ているものがたくさんあることに驚き、関心を高めることができた。

さらに、5年生は田んぼのまわりの生き物を調べ、田んぼの持つ役割や食物連鎖などについても学習を深めることができた。

3～6年生「パソコンを使って発信しよう」

2月に、3～6年生は総合的な学習の時間の学習成果を交流し合う「学習発表会」を行った。3年生は「金沢の和菓子」、4年生は「金沢の偉人」、5年生は「湯涌の環境」、6年生は「金沢の名所」をテーマにして発表した。発表に向けて、各学年とも、パソコンを使って学習したことをまとめた。学習発表会当日は授業参観で、異学年のほか、保護者にも学習したことを発表した。パソコンを使って発表する力の他に、自分の考えを相手にわかりやすく伝える力の育成にもつなげることができた。地域や金沢の伝統・自然の良さを感ずることができた良い時間となった。



【芝原中学校】 テーマ「地域に学ぶ」

異学年総合（全学年）

全学年を二つのグループに分け、地域の自然や文化に関する学習に取り組んだ。この学習を通して、自分たちの地域の特質や良さを再確認し、地域に誇りを持ちそれを発信する意義を感じることができた。

①花や野菜の栽培（全学年）

湯涌の自然や地域との共生の大切さを感じることを目的に、地域の自然環境を生かした野菜作りに取り組んだ。収穫した野菜を使ってお菓子を作り、地域・学校共の文化祭において、成果を発信し、多くの人に喜んでもらうことができた。また、地元江戸時代から伝わる「湯涌赤かぶら」作りにも挑戦している。戦後生産がされなくなったが、地元の人々が試行錯誤を重ねてここ数十年前に復活させた野菜である。

②金沢百萬石和太鼓の伝承（全学年）

湯涌地区に伝わる「金沢百萬石和太鼓」の伝承と発信に取り組んだ。地域の百萬石太鼓のメンバーから指導を受け、太鼓の技と心を受け継いだ。地域の祭りや学校行事での演奏、金沢市内のイベントでの演奏、ジュニア太鼓コンクールへの参加など、幅広い場での演奏を通して、地域文化の伝承と発信に努めた。

4月 入学式 5月 スポーツフェスティバル

7月 夏祭り 9月 矯正展

10月 文化祭、東海北陸音楽教育研究大会石川大会



11月 ジュニア太鼓コンクール
③里山保全のための茅刈り（全学年）

茅について研究されている地域の方々に指導して頂き、学校近くの茅場で茅刈り体験をして、地域の文化保全に役立てている。



学年別総合 「生き方を考える」

各学年ごとに「生き方を考える」キャリア学習に取り組んだ。体験学習を通して新しい発見をし、生き方を考える機会となった。

○2年生 職場体験、高校調べ・・・職業体験を通して進路を考え、高校調べでは高校新聞を作り、まとめて発表した。

○3年生 進路選択、面接練習
作文小論文による自己表現・・・進路決定や将来に向けて、面接や作文などを通して自分を見つめる機会とした。

金沢ふるさと学習

金沢の伝統文化に触れ、地域の特徴を未来に生かし、世界とつながって生きていくための学習に取り組むことができた。

- 2年生 「金沢の景観保全と伝統芸能の探求」
- ・金沢の文化的景観や伝統芸能（金箔箔、加賀友禅、陶芸等）について調べ、レポート作成。
 - ・金沢自主プランの計画。
- 3年生 「世界の交流拠点都市金沢」
- ・鈴木大拙館を訪問し、大拙の生き方について調べ、レポートを作成
 - ・金沢のまちづくりへの提案、発信のために金沢ふるさと新聞を作成

（2）活動の詳細

① 活動内容

ア. 活動分野（複数選択可）

<input checked="" type="checkbox"/> 1. 環境	<input checked="" type="checkbox"/> 2. エネルギー	<input checked="" type="checkbox"/> 3. 防災	<input type="checkbox"/> 4. 生物多様性
<input type="checkbox"/> 5. 気候変動	<input checked="" type="checkbox"/> 6. 国際理解、文化多様性	<input checked="" type="checkbox"/> 7. 地域の伝統文化、文化遺産	<input checked="" type="checkbox"/> 8. 人権・平和
<input checked="" type="checkbox"/> 9. 健康・福祉	<input checked="" type="checkbox"/> 10. 食育	<input checked="" type="checkbox"/> 11. 持続可能な生産と消費	<input type="checkbox"/> 12. 貧困
<input type="checkbox"/> 13. エコパーク	<input checked="" type="checkbox"/> 14. ジオパーク	<input type="checkbox"/> 15. グローバルシチズンシップ教育 (GCED)	
<input checked="" type="checkbox"/> 16. ジェンダー平等	<input type="checkbox"/> 17. その他()		

イ. 活動を通して育みたい資質や能力（複数選択可）

<input type="checkbox"/> 1. 批判的に考える力	<input checked="" type="checkbox"/> 2. 未来像を予測して計画を立てる力
<input checked="" type="checkbox"/> 3. 多面的、総合的に考える力	<input checked="" type="checkbox"/> 4. コミュニケーションを行う力
<input checked="" type="checkbox"/> 5. 他者と協力する態度	<input checked="" type="checkbox"/> 6. つながりを尊重する態度

<input checked="" type="checkbox"/> 7. 進んで参加する態度	
<input type="checkbox"/> 8. その他(自由記入)

ウ. 活動時間（複数選択可）

<input checked="" type="checkbox"/> 1. 教科の時間	<input checked="" type="checkbox"/> 2. 総合的な学習の時間
<input checked="" type="checkbox"/> 3. 特別活動等	<input type="checkbox"/> 4. クラブ活動
<input type="checkbox"/> 5. その他(自由記述)

エ. 使用した教材（書籍、ウェブサイト、パンフレットなど具体名）

地域人材による講習

- ② ユネスコスクールとしての活動を各校の教育課程（指導計画）にどのように位置付けているか。指導内容を適切に定め、指導方法の工夫改善に努めているか。（200～300字程度）

※チェック事項 1-2, 1-3 に対応

<p>①各教科で横断的に計画</p> <p>②総合的な学習の時間 「地域に学ぶ」・「金沢ふるさと学習」・「生き方を考える」</p> <p>③特別活動 「学級活動」・「生徒会・委員会活動」・「学校行事」・「文化的行事」 「勤労生産・奉仕的行事」・「健康安全・体育的行事」 「旅行・集团的宿泊行事」</p> <p>④道徳教育</p> <p>⑤人権・同和教育</p> <p>⑥健康教育</p> <p>⑦金沢「絆」活動の推進</p>
--

- ③ 学校全体で組織的かつ継続的に活動に取り組める体制や環境をつくるため、どのような取組を行っているか。（200字程度）

※チェック事項 1-4 に対応

<p>・金沢ユネスコスクールこどもサミットにおけるポスターセッションによる発表を、小中とも校内において事前に発表する。また、参加後児童生徒がサミットの内容を全校に還元する機会をもつ。</p> <p>・金沢ユネスコスクール担当者連絡会議やESD推進研修会などの情報や内容を校内研修会等で共通理解して共有する機会をもつ。</p> <p>・年度末に市教委から送付される、市内小中学校加盟校の取組概要を指導計画や内容、実際の指導の参考にする。</p>

- ④ ユネスコスクールとしての活動の質の向上のための学校活動の評価（内部／外部）の方法・具体的内容と、それによって明らかになった成果と課題。（２００字程度）

※チェック事項 1-5 に対応

学校評価の項目に総合的な時間に地域の人材を活用しながら学びを深めているかという項目を設け、教員アンケートとから達成状況を明確にしている。また、児童生徒アンケートにより、児童生徒は総合的な学習により自分の住む地域に愛着や誇りをもつことができたかどうか評価している。

- ⑤ ESD の推進拠点としての活動成果の発信方法・内容と、発信により得られた効果。（２００字程度）

※チェック事項 2-2 に対応

・ 金沢ユネスコスクールこどもサミットにおけるポスターセッションによる発表を、小中とも校内において事前に発表する。また、参加後児童生徒がサミットの内容を全校に還元する機会をもつ。
・ 総合的な学習の時間に学んだことをポスターにまとめ、市立図書館に掲示する。

- ⑥ 学校以外の団体との協働・交流・ネットワーク形成（地域コミュニティ、大学、ESD活動支援センター、ESDコンソーシアムとの連携など）（２００字程度）

※チェック事項 2-3 に対応

・ 地域の方にゲストティーチャーとして来てもらい、野菜作りや、地域に伝わる伝承太鼓の演奏を指導していただいている。

- ⑦ 国内外のユネスコスクールとの交流・ネットワーク形成（２００字程度）

※チェック事項 2-4 に対応

平成２４、２５年度に金沢市復興支援子ども交流事業で岩手県陸前高田市のけんか七夕祭りにボランティアとして参加し、太鼓演奏、交流を行った。今後は、様々な学習の機会をとらえ、湯涌の文化と自然の良さを国内外に発信する。

- ⑧ ユネスコスクールの活動による効果について、特筆すべき（特に強調したい）内容（例えば児童生徒、教員、カリキュラム・教授法、学校経営、地

域・保護者との関係など様々な面でのポジティブな変化) (200字程度)
※チェック事項 2-5 に対応

児童生徒はそれぞれの学習を通して、自分たちが地域から愛されていることを知り、地域の自然や人、文化を大切にする気持ちを学んできた。その学習は、ふるさとに誇りを持ち、協力して物事を成し遂げる力、ふるさとの自然や伝統文化を通して広く人との絆を繋げる体験につながった。また、小中併設校の特性を活かし、小中一貫教育という視点でESDをとらえ、学習内容を小中で一緒に検討した。

(3) 平成30年度の活動計画 (200～400字程度)

今年度までの活動を継続し、小中それぞれのテーマのもと、総合的な学習の時間を中心にESD教育に取り組む。平成30年度は新たにオリンピック・パラリンピックに向けた取組を行う。